

# 2010年 活動報告

Hondaは、お客様に「安全な製品をお渡しするとともに、安全に運転するための知識や技術をお伝えする」という理念のもと、1970年より安全運転普及活動に取り組んでいる。

40年の歩みを重ねた2010年は、「地域に根ざした活動のさらなる充実」「Hondaらしい先進性・独自性のある活動の展開」を重点テーマに取り組んだ。

## これからの交通社会を見据え、継続・定着のための活動を強化

### 1 地域に根ざした活動のさらなる充実

今年の重点テーマの1つである「地域に根ざした活動のさらなる充実」の実践に向け、非運転者に交通社会の正しい知識やルールを知っていただく「交通安全領域」と、運転者として交通社会に参加する人々に向けた「安全運転領域」の大きく2つの領域で、人づくり、場づくりの活動を展開した。

#### 「交通安全領域」へのアプローチ

交通安全を学ぶ場と機会を全国に広げるための活動拠点として、一昨年から昨年にかけて、栃木・埼玉・浜松・群馬・熊本の各製作所に「地区普及プロジェクト」を設置。専任のインストラクターを配置し、地域での活動を主導する地域指導者の育成、参加体験型実践教育の場と機会を提供している。今年も、



Hondaパートナーシップインストラクターによる佐賀地区の「親子交通安全教室」

指導者の育成を中心とした活動を強化し活動の場を拡大した。

また、活動に賛同いただいた関連企業の従業員の中から、Hondaパートナーシップ・インストラクターを育成し、各企業周辺地域の交通安全活動に取り組み体制づくりを進めた。

#### 「安全運転領域」へのアプローチ

全国8カ所の交通安全教育センターでは、企業や一般の方々を対象とした参加体験型の実践教育を実施し、多くの方にご参加いただいた。

さらに、今年も地域において交通安全活動に積極的に取り組んでいる自動車教習所と連携した活動を強化。36校（10月末現在）の自動車教習所にご賛同いただき、各教習所周辺の地域に根ざした交通安全普及活動を行った。

また、二輪・四輪・汎用販売会社では、今年もお客様に安全を手渡しする活動を展開。お客様と直接触れ合い絆を深める大切な活動拠点の1つとして、店頭での安全アドバイスや安全ミニ講習会、実技スクールを開催するなど販売会社独自に活動に取り組んだ。



鈴鹿サーキット交通教育センターで実施された郵便事業（株）の指導者研修

Honda Cars 福岡では、お客様に直接安全運転のアドバイスをを行うドライビングスクールを開催

### 2 Hondaらしい先進性・独自性のある活動の強化

今年のもう一つの重点テーマである、「Hondaらしい先進性・独自性のある活動の強化」に向けて、各種教育教材やプログラム、シミュレーターに代表される教育機器等のソフト開発を進めた。

#### 教育教材やプログラムの充実

今年も、幼児から小学校低学年向けの交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ編」を、常日頃から子どもたちに接する機会が多い教育現場の実情に合わせて、集団学習や繰り返し学習をしやすい内容に再編した。また、「Honda交通安全かるた」も、A4サイズの大幅な増量を意識し、集合教育の現場で活用しやすくした。また今年新たに（財）国際交通安全学会のプロジェクトに参画し開発され



「あやとりいひよこ編」を活用した埼玉県秩父市の交通安全教育担当指導員による交通安全教室

福岡で開催された「Honda交通安全かるた」を使用した交通安全教室

た「感情コントロール」プログラムは運転者のマインドに焦点を当てた、今までにない教育プログラムとして、受講者から「斬新なアプローチで効果的」との評価をいただいている。

#### 普及に向けた教育機器の開発

Hondaは、二輪車・四輪車における「危険予測能力の向上」と「危険を安全に体験すること」を目的に、シミュレーター開発を続けてきた。これまでに培ってきたHonda独自の技術を教育現場で実践的に活用してもらうため、今年新たに、「Honda自転車シミュレーター」と「Honda動画KYT」を発売。ともに運転者の安全運転意識を高めるツールとして、今後の活用が期待されている。



医療機関の亀田メディカルセンター（千葉県鴨川市）で活用される「Honda セーフティナビ」

静岡県静岡南警察署交通安全指導員による「Honda自転車シミュレーター」を活用した自転車交通安全教室

Hondaの安全運転普及活動は、おかげさまで今年40周年を迎えた。さらに複雑化、多様化する昨今の交通社会において、これまで培ったノウハウや経験を最大限に活かし、より広く、より深く、社会に安全を届けていく考えだ。

## 安全運転教育用「Honda動画KYT」を発売



「Honda動画KYT」は、実際の交通状況を再現した動画を見ながら危険を予測し、結果を受講者同士が振り返って議論することで安全を学ぶ教育機器。多数の集合研修に活用される。危険を予測したタイミングを個々に記録、表示し、他者のタイミングと比較することで自らの弱点に気づき、運転行動の変容を促すことができる。2006年より現在まで、全国のHondaの交通安全センターで安全運転教育に活用してきたが、今後は社員の安全教育に取り組む一般企業や、企業向けの研修を行う教習所などへの普及を目指す。

#### 「Honda動画KYT」の特長

- 指導者用ノートパソコンと受講者用のボタンなどをセットで販売
- 受講者の危険予測状況を記録し、画面に表示することで客観的な振り返りが可能
- プロジェクターとステレオスピーカーを使用することで臨場感のある環境を作り、最大20名の集団学習が可能
- 運転車両を二輪車と四輪車から選択でき、市街地から雪・雨・高速道路など様々な条件での学習が可能
- 指導者用サポート機能を装備

※全国メーカー希望小売価格：本体価格525,000円（消費税込）  
「Honda動画KYT」のお問い合わせ：安全運転普及本部教育機器課  
TEL 048-452-0559